

スマイルキヤット通信

2023年11月号 NO2
ペットサロン リーデレカーネ

「猫の嗜好性は生後1年で決まる!？」

皆さんこんにちは!

ペットサロンリーデレカーネ、代表の原口です。
猫には猫対応のトリミングをしている当店では、
前回から猫対応のニュースレターを発行しております。



今回は猫の嗜好性についてのお話をしたいと思います。「皆おいピーン!」
飼い主さんから「うちの子はこれしか食べない」とよく聞きます。
猫は生後1歳くらいまでの間に食べていたものは、その後大人になっても食べますが、全く口にしていないと、食べない傾向にあります。
もちろん例外の子もいますよ。

味というよりは、形状や原材料の種類で分かれているように思います。
ドライフードを食べていた子は、大人になったら、
ウェットフードを食べない。
ウェットフードを食べていたら、
大人になってもドライフードは食べない。
両方食べていたら、大人になっても両方食べます。



うちの初代ねこ「はるにゃん」は缶詰を主食に、
私がお風呂に入っている間にマットの上で待っていて、
出た後にカリカリをデザート感覚で食べていました。
ツナ缶を使った後に舐めさせたり、スーパーで買った、
なまり節もたまにもらっていました。

「まいで、知らんがた。」

2代目の「ねばお」は最初からカリカリしか
食べていなかったのも、
試供品でもらった高級猫缶も
見向きもしませんでした。



「もったいないなあ」

形状の次くらいに原料の違いがありますが、
これは日本は島国なので、

魚を好む傾向がありますが、
アメリカではチキンやビーフが好まれます。
この場合は脈々と受け継がれた遺伝も関係していると思われます。

初代のはるにゃんは調理後のフライパンの油を舐めたり、
ポテトチップスを横取りしたり、
テーブルの上のおかずを持って逃げたり、やりたい放題でした。
体に悪そうなものも食べていましたが、
大病もなく19歳で旅立ちました。

ねばおはカリカリしか食べてきていないので、
盗み食いは一切しません、
一度だけ旦那のお弁当のごはんにかけていた、
おかかのふりかけだけは、
きれいに食べられてしまったことがあります。
これはDNAによる衝動なのだと思います。



「叶姉妹」

それに加えて、そのもの自体の素材の良し悪しや、
その子の好むものでいうと、
いつも食べているごはんより良いグレードのものを
あげた場合、それよりグレードの低いものは
一切食べなくなる傾向にあります。犬にも同じことが言えますが、
猫の方がより頑固に食べないので、大概は飼主さんが負けてしまい、
「うちの子はこれしか食べない」現象が生まれてしまうのです。

ただ注意してほしいのは、

**その子にとって嗜好性が高いごはん = 品質が良いごはん
ではない**ということです。

猫に食べさせるためにどんなものを使っているのかを、
チェックすることも、必要だと思います。

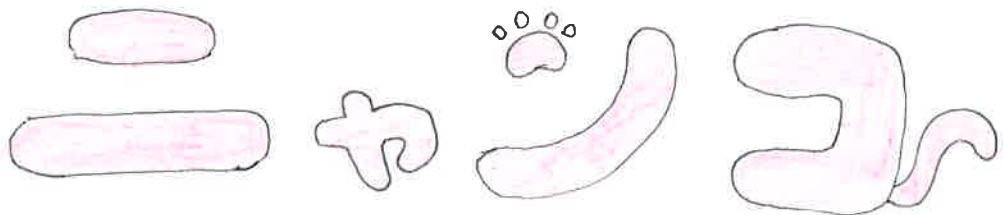
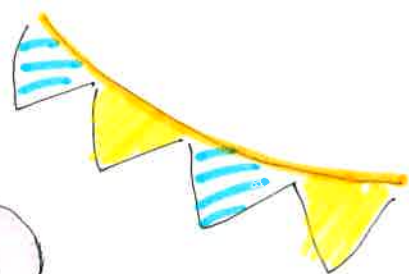
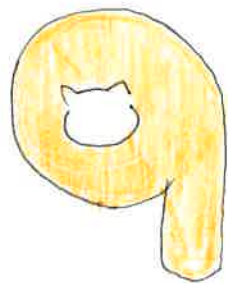
クリスマスにお高いターキーの缶詰をあげたら、

「ウにゃウにゃ」言いながら
食べていたはるにゃんを見て、
私も幸せな気分になりました。

美味しくて、良い品質のごはんではどの猫ちゃんも
健康で長生きできますように。



「いい夢見るとこ」



ニャン



パールシャ



ムンチサン



こほくちゃん



ラテちゃん

ユキちゃん



セマラヤン

フコちゃん



こまつちゃん



エキゾチック



カリオンちゃん

わたちゃん

サテバリアン



あおちゃん

キングス

ほろちゃん

レオちゃん



ルウエージュちゃん



こげ"ほちゃん



あめちゃん

メインフーン

和猫



ミトちゃん

ハチちゃん



和若×マンチカン

シヤルトリャー



くろみつちゃん

-9-



リアンちゃん

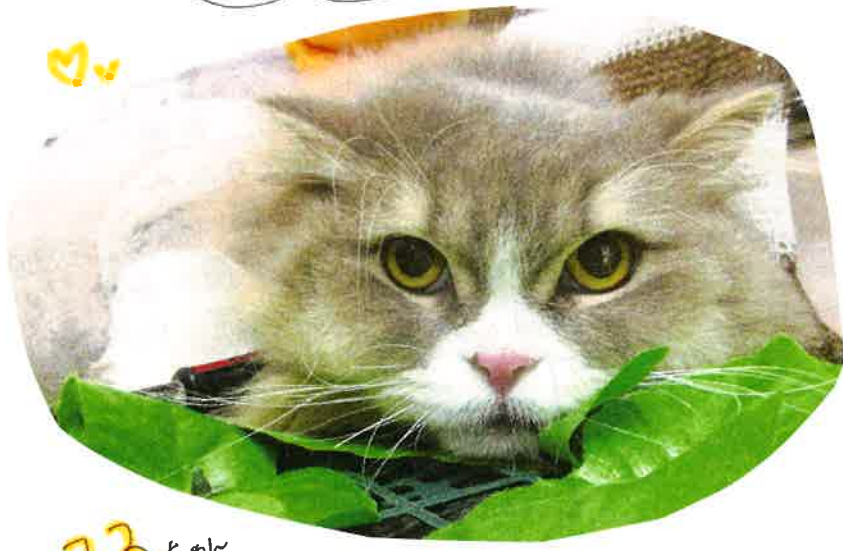
スコティッシュ
フォールド

ポテ ちゅわ

!!!



♡♡



るる ちゅわ

チチン ちゅわ



♪

ルル ちゅわ



♪

ウサビ ちゅわ

ちゅわ



♡♡



!!!



くら ちゅわ

□ン ちゅわ

